荒川出合　3ルンゼ右のナメ滝IC

2011/1/30
斉藤、杉山（無所属）岡崎（雪童山の会）

荒川出合は初めてのエリアという事で、そんな意味でも楽しみな山行であった。今回の目的は 3 ルンゼの「アーリースプリング」だ。毎年、なかなか発達せず、登る事が出来ないらしいが、はたして登れるだろうか？

1/29 南アルプス公園線の入り口に道の駅「ふるさと工芸館」にて前夜泊をする。
1/30 4:00 に起床し、朝食後、奈良田第一発電所まで車で入る。ゲート前には既に 5～6 台の車が停まっている。ゲートの右端にあるドアはロック部に針金を通してあるだけで簡単に開ける事が出来た。ハングしたゲートを登らずにすみ助かった。そこから 2 時間半の林道歩きは雪もなく快適だ。登山靴を背負ってジョギングシューズで歩くのがいいだろう。林道を横切る枝沢の凍結具合を見ながら、3 ルンゼの凍結具合に期待する。途中いくつかの短いトンネルを通るが、まだ新しく長いトンネル越えると、すぐに荒川出合に着く。左より入る初めの沢が 2 ルンゼで次が 3 ルンゼだ。林道上で登攀準備を整え、3 ルンゼへと足を進める。しばらくゴーロ帯を登るとすぐに長いナメ滝が姿を現す。傾斜が緩いのでノーロープで行くが、朝一のナメ登りはふくらはぎにこたえる。やっとの思いで雪面に出ると「右のナメ滝」の取り付きに着いた。本来そこから、左に分けるはずの「アーリースプリング」は、氷が発達しておらず、「右のナメ滝」に予定を変更する事にする。こちらもなかなか楽しそうだ。「右のナメ滝」は 4P あるそうだが取り付きからは全貌を望むことは出来ない。それもまた楽しみが増えて何か楽しい。取り付きから後方にはアイスクライマー憧れの「夢のブライダルベール」が望める。ブライダルベールを登攀中のクライマーを遠目に見ながら、こちらも登り始める。1P 目は杉山さんのリードで、見栄えのする 70°程のナメをロープいっぱいに伸ばし、右の灌木にてピッチを切る。2P 目は私がリードする事に。左にややトラバース後、緩傾斜帯を直上し、傾斜の増し始める所を一段登り、太めの木にてビレイ。3P 目は岡崎さんのリード。傾斜の立っている所よりスタートし、1 段越えると左に屈曲する。この辺りから徐々に疲れも出てくるが、程良い疲労感だ。最後の 4P 目は杉山さんがリード。12m 程の傾斜の立っている部分の氷質が悪そうだ。最後の氷を楽しみながら、終了点へと 3 人が集合する。フルに 4P の氷はさすがに充実感がいっぱいであった。少し休むと早速、下降に移る。左岸の灌木より懸垂し、忠実に登りに使ったビレイ点を辿る。尾根を下降するより、スマートな上、はるかに早く取り付きへと着く事が出来た。やっと何か食えるぞとパンを詰め込む。そこからの下降はブライダルベール側へと少しトラバースして林道へと続く踏み後をくだる。帰りにトンネルが新しくなって行き方が分からなくなってしまった。「1 ルンゼ」と「ネルトンフォール」の偵察を済ませる。帰りの林道の途中からはすっかり日も暮れヘッ電を点けての歩きとなってしまったが、登攀の余韻の浸りながらとぼとぼと歩く。荒川出合にはアルパインルートから高難度マルチまで揃い、また、是非来たい所であった。

奈良田第一発電所 6:00～8:30 3 ルンゼ出合～10:00 右のナメ滝取り付き～14:20 終了点～15:10 取り付き～15:40 林道 16:05～18:35 奈良田第一発電所